

 第 13 回世界ラート選手権大会



photo by Bart Treuren



photo by Bart Treuren

2018年5月6～13日、スイスのマグリンゲン(Magglingen)にて『第13回世界ラート競技選手権大会』が開催されました。日本からはラート部門でシニア選手9名、ジュニア選手4名が出場、健闘しました。

日本選手入賞者の結果は以下の通りです。

【総合】

1	高橋 靖彦	JPN	30.45
2	Christ Luca	GER	28.65
3	Heimer Carsten	GER	27.50
4	Reich Matthias	SUI	27.40
5	Rufener Simon	SUI	26.00
6	Calmano Tim	GER	25.85

【跳躍】

1	高橋 靖彦	JPN	10.30
2	Christ Luca	GER	8.60
3	及川 輝	JPN	8.50
4	Reich Matthias	SUI	8.15
5	Douwes Dekker Koen	NED	7.95
6	Salcedo Mancipe Jose	COL	7.25

【直転】

1	Heimer Carsten	GER	11.35
2	Rufener Simon	SUI	10.80
3	高橋 靖彦	JPN	10.50
4	Christ Luca	GER	9.15
5	Claassen Maxim	NED	8.35
6	Reich Matthias	SUI	7.75

【斜転】

1	高橋 靖彦	JPN	10.95
2	Heimer Carsten	GER	10.40
3	Rufener Simon	SUI	9.15
4	Ropeter Mirko	GER	8.95
5	Reich Matthias	SUI	8.45
6	Pitz Achim	BEL	4.20

【総合】

1	Homeyer Kira	GER	30.55
2	Lessel Lilia	GER	30.30
	Rechsteiner Cheyenne	SUI	
4	Huber Edwina	SUI	30.05
5	Vogel Riccarda	GER	29.10
6	Schulze Caroline	GER	28.10

【跳躍】

1	van Berkel Myrna	NED	8.80
2	Homeyer Kira	GER	8.50
	Dery Noa	ISR	
4	Schulze Caroline	GER	8.35
5	Rechsteiner Cheyenne	SUI	7.80
6	松浦 佑希	JPN	7.25

【斜転】

1	Rechsteiner Cheyenne	SUI	12.20
	Lessel Lili	GER	
3	Homeyer Kira	GER	11.75
4	堀口 文	JPN	10.75
5	Huber Edwina	SUI	9.55
6	松浦 佑希	JPN	8.80

【直転】

1	Homeyer Kira	GER	11.40
2	Krumm Sabine	SUI	11.25
	Rechsteiner Cheyenne	SUI	
4	堀口 文	JPN	11.00
5	Vogel Riccarda	GER	10.45
6	van den Boogaard	NED	9.70

【団体】

1	Germany	54.25
2	Switzerland	53.00
3	Japan	50.25
	小山 (斜転)	10.35
	松浦 (跳躍)	7.65
	吉行 (直転)	9.65
	高橋 (斜転)	10.95
	及川 (跳躍)	8.50
	堀口 (直転)	10.80
4	Netherlands	45.85



photo by Bart Treuren



photo by Bart Treuren

日本選手団メンバーより大会の感想が寄せられていますので、紹介します。

## 【ラートジュニア選手】

### ● 五島 珠里 たまラートクラブ 高校3年 ●



photo by Bart Treuren

今回の大会は、普段とは違う床でなかなか慣れませんでした。しっかりラートを押し進みますが、途中でやめてしまうとすぐに止まってしまう、練習でもラートが進まないことが多々ありました。斜転はまた違う木の床で上手いかず、不安にもなりました。でも、本番ではそんな環境に左右されることなく過去最高点の演技が出来ました。自分を信じて演技が出来て良かったです。3回の世界大会を経験して、積極的に行動すること、自分で考えること、自信を持つことを学べたと思います。このような経験をさせていただきありがとうございました。

### ● 小原 瑞季 たまラートクラブ/遊学の里ラートクラブ 高校3年 ●



今までたくさんのご指導や応援をいただきありがとうございます。スイスでは慣れない床に苦戦しましたが、コーチや選手の皆さんが的確なアドバイスをくださったったり、私が落ち次いで演技できるように作戦を立ててくださったたりしました。「自分の力を出し切って納得の行く演技をする」という自分の目標を達成できたとてもいい世界大会でした。また、世界大会に出場できるよう頑張ります。



### ● 瀧澤 実梨 洞峰ラート教室 高校2年 ●



私は初めて世界選手権に出場させていただきました。そして、初めての雰囲気を楽しめることができ嬉しかったです。

世界という舞台で緊張しましたが、演技をするのがとても気持ちよかったです。直転は納得のいく演技ができず悔しい思いをしましたが、跳躍は大会前の練習の成果が発揮できたと思っています。悔しい思いをした分、もっと上を目指したいという気持ちを強く持つことができました。次は全日本に向けて少しでも上達できるよう努力します。

選手の方々、コーチの皆さん、本谷先生にはとてもお世話になりました。そして、日本代表として私を応援してくださった両親にも感謝しています。

今回はとても良い経験をさせていただき、ありがとうございました！

### ● 丸山 夏未 たまラートクラブ 中学3年 ●



初めての世界大会、何もかも新鮮で、とても楽しかったです。

目標にしていた、「印象に残る演技をする」、「胸をはって演技する」というのが、どちらも達成できました。片手ブリッジが成功し、その時の拍手の大きさに、驚きと感動を覚えました。

こんなに素晴らしい経験ができたのは、指導してくださったコーチ、学校の先生方、友達、家族のおかげです。これから色々な技に挑戦し、2年後、世界で披露するために練習をがんばります。

応援ありがとうございました。

ジュニア選手はシニア選手の応援団としても大活躍しました！！



大会の様子は以下のページで振り返ることができます。

<https://www.facebook.com/2018rhoenradJPN>

## 【ラートシニア選手】

### ● 及川 輝 松本大学ラート競技部 3年 (団体:跳躍) ●



photo by Bart Treuren

ご支援、ご声援ありがとうございました！沢山の方々に支えて頂いた大会となりましたが、無事、跳躍では3位になる事ができ、嬉しかったのですが、自分はまだまだなのだ実感出来ました。これからも頑張ろうと思います。

最後になりますが、様々な面で支えてくださった、松本大学を始め、現地で気を使って頂いた皆様、日本で応援して下さった方々にはほんとに感謝が尽きません。皆様ありがとうございました。



### ● 小山 信博 筑波大学附属桐が丘特別支援学校 教諭 (団体:斜転) ●



photo by Bart Treuren

この度、応援していただいたみなさまに、厚く御礼申し上げます。とくに、多忙な時期に長期間にわたり海外遠征に行くことを快くこころよくおゆるしくださった職場のみなさま、心より感謝申し上げます。今大会、斜転の表彰台を目指して準備を積み重ねてきましたが、予選でのミスが個人種目別決勝への道を閉ざしてしまいました。大変、落胆いたしました。団体決勝では良い演技ができ、チームの銅メダルに貢献できたことをうれしく思います。自分の未熟さを痛感するとともに、成長への伸びしろもまた感じる事ができた大会となりました。努力を続け、次大会を目指します。これからも応援いただけましたら、幸いです。ありがとうございました。



photo by Bart Treuren

### ● 高橋 靖彦 秋田ノーザンハピネッツ(株) (団体:斜転) ●



photo by Bart Treuren

「全ての力」

まずは応援して下さった皆様に心から感謝申し上げます。様々な支えがあってこそ、競技を継続できていると再認識する大会でした。金×3、銅×2という結果を報告でき、嬉しいとともにホッとした気持ちです。

今大会では、試合に加えて、国際ラート連盟 Athlete Commission への選出、初めてのコーチ役、ジュニア表彰式のプレゼンター、来年の世界ラートチームカップの準備状況報告と協力の要請などがありました。今持てる心身の全ての力を出し切ったと言ってよい日々でした。新しいことへの挑戦はエネルギーが必要ですが、視野が広がること、次のステップが見つかっていくことはとても刺激的です。これからもラートが更に発展し、盛り上がっていくように力を尽くしたいと思います。今後とも応援よろしくお願い致します！



photo by Bart Treuren

### ● 森本 修多 筑波大学体操部 修士2年 ●



私自身初めての世界大会は、予選敗退という悔しい結果となりましたが、世界大会という大きな舞台上で演技できたこと、世界大会向けの練習や準備をする中で多くの方々と交流を深められたことは、私にとってかけがえのない経験となりました。

本番は、長時間の移動や慣れない床への対応など、普段にはない環境に戸惑うこともありましたが、試合の緊張感と観客の暖かい声援を感じながら演技することができました。

また、大会に向けて、演技構成の工夫や練習中の補助、衣装の製作など、どれも私一人ではできないことばかりであり、たくさんの方のご協力をいただき、無事に本番を迎えることができました。

ご支援、ご声援をくださった方々に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



photo by Bart Treuren



photo by Bart Treuren



photo by Bart Treuren

● 月岡 美穂 松本大学 OG ●



photo by Bart Treuren

今回で2回目、そして社会人としては初めての世界大会でした。どうやって練習時間を確保するかが課題でしたが、職場の皆様、松本大学の犬飼先生と部員達、そして家族に支えられ、無事試合を迎えることが出来ました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

重点目標においていた直転は、ミスなく通り、自分の中で過去最高の演技ができました。自分の追求める演技にはまだまだ到達していないので、さらに技術を磨いていきたいと思えます。

最後になりましたが、本大会におきましてご支援ご声援いただきました皆様、本当にありがとうございました。

● 富名腰 真子 筑波大学体操部 4年 ●



photo by Bart Treuren

初めての世界選手権出場が決まった時、「誰よりも練習して本番に臨もう」との目標をたてましたが、練習のスタートを切るのが遅かったうえにケガも相次ぎ、なかなか十分な練習を積むことはできませんでした。残りの1カ月でなんとか試合を迎えられる状態までに仕上げてスイスに向かうことができました。慣れない床と緊張から現地の練習では大崩れしてしまいましたが、コーチをはじめ支えてくださった方々のおかげで本番は楽しんで演技することができました。直斜ともにミスがあり、悔しさは残りますが、自分の演技を披露し、海外の選手の演技を生で見たことでまたこの舞台に立ちたい！そう強く思うことができた大会でした。

最後になりますが、今大会に参加して支えてくださる皆様・応援して下さる皆様の力はものすごいものだと感じることができました。世界の舞台で演技できたこと、応援して下さる方々への感謝の気持ちを忘れず、今後とも精進して参ります。

● 堀口 文 筑波大学 特任助教 (団体:直転) ●



photo by Bart Treuren

今大会は、嬉しさや悔しさなど、様々な感情が溢れる大会となりました。

優勝を狙っていた直転の種目別決勝では、たくさんの人の力を借りてやっと出来上がった渾身の演技をやりきった涙と、メダルにも手が届かなかった結果が悔しくて流した涙と…これまでの世界大会とは比べ物にならないほど複雑な感情の数々でした。

とはいえ、最近自信を持てるようになった斜転での2大会連続4位入賞や、団体戦での銅メダル獲得など、とても喜ばしい結果もありました！

今大会での全ての経験を糧にして、これからも精進してまいります。ご支援ご声援くださった皆様、この場をかりて御礼申し上げます。ありがとうございました。



● 松浦 佑希 筑波大学体操部 博士2年 (団体:跳躍) ●



photo by Bart Treuren

本大会も現地で多くのサポートをして下さったコーチ陣、保護者の皆様を始め、選手同士、また日本からの多くのサポートがあり無事に大会を終えることができました。本当にありがとうございました。

多くの方に多大なるサポートをいただいて臨んだ大会でしたが、悔しさと不甲斐なさ、応援して下さった多くの方への申し訳なさだけが残ります。この気持ちを残したまま終わることはできなさそうなので、また新たな気持ちで取り組んでいきたいと思えます。まずは怪我を治すところから、もう少し成長して帰ってこれるよう頑張ります。応援いただき誠にありがとうございました。

● 吉行 暢子 筑波大学 OG (団体:直転) ●



photo by Bart Treuren

初めにご支援・ご声援くださった皆様はこの場をお借りして深く御礼申し上げます。また現地に同行して下さった本谷先生をはじめコーチの皆様、サポーターの方々には、様々な面からサポートして頂き誠にありがとうございました。

今大会、個人としては悔しい結果となりましたが、団体戦決勝では自分の全てをぶつけて演技をやりきることができました。演技中には自然と笑顔になり、初めて演技を楽しめたように思います。ここまで支えてくださった感謝の気持ちをもって、これからたくさん恩返しをしていきたいです。

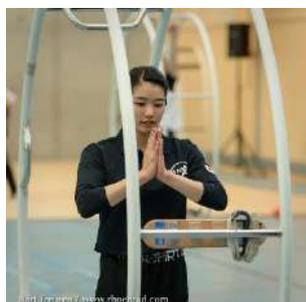


photo by Bart Treuren



photo by Bart Treuren



photo by Bart Treuren

## 【コーチ】

### ● 前原 千佳 筑波大学 OG(日本スポーツ振興センター) ●



今回、コーチとして帯同させていただきました。

コーチとしては、選手がしっかり練習できるような環境を整えること。安心して試合に臨めるような雰囲気を作ること。を心がけてサポートしました。また、演技をより魅せるものにするためにメイクなどでもサポートしました。

選手はベストを尽くし、それぞれの目標を達成するパフォーマンスをしてくれました。最高の笑顔やガッツポーズの出る演技に何度も立ち会えて、とても幸せでした。国別(団体)戦では演技をしている選手だけでなく、シニア・ジュニア選手、現地応援団が一丸となり、さらには深夜にもかかわらず日本から応援していただいた皆様のパワーが後押しとなって、メダルに繋がったのだと感じました。

素敵な経験をさせていただいた選手団と応援していただいた皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。



### ● 吉永 直嗣 筑波大学 OB ●



今回、3年ぶりに世界大会にコーチとして参加してきました。国際大会からはしばらく離れていたこともあり、当初は選手を十分にサポートできるか不安もありましたが、大会に向けて選手や他のコーチと調整し、自分なりに精一杯のことはできたと思っています。

現地では、選手の補助に加え、ラートやレーンの確保など、忙しい毎日でしたが、世界最高峰の生の演技を間近で見ることができ、とても貴重な時間を過ごすことができました。現地で見てきたことを活かし、これからもまだまだラート界に関わっていきたいと感じました。

最後になりましたが、日本選手団を応援して下さった皆様に心よりお礼申し上げます。



### ● 渡辺 理沙 筑波大学体育専門学群 4年 ●



日本から日本選手団へのたくさんの応援ありがとうございました。現地でも日本からの心強い応援を感じることができました。今回はコーチとして初めて参加させていただきました。選手として参加するのとは違った視点で大会全体を見て純粋に楽しむことができました。また選手をサポートする上で学ぶことがたくさんあり、とても貴重な経験をすることができました。次回日本開催のチームカップにむけて良い学びとなりました。本当にありがとうございました。



## 【監督、国際審判員】

### ● 本谷 聡 筑波大学体育系 ●



今大会においても、高橋の史上初となる3度目の個人総合の優勝をはじめ、大活躍することができました。現地でサポートしてくれた皆様、日本から応援してくれた皆様、ラート協会をはじめすべての関係者の皆様に感謝申し上げます。いよいよ次の国際イベントは、Team World Cup 2019の秋田大会です。閉会式では、IRV 副会長 Günter 氏より次イベントオープンのための「鍵」を受け取りました。私は 1995年の第1回世界ラート競技選手権から参加しています。そのため、これまでの様々なサポートに答えるべく、おもてなしの心で大会を企画するなど運営できればと考えております。是非多くの皆様からのサポートをお願いできれば幸いです。

最後に、IRV 総会において、IRV Auditor の委員として Henning 会長より本谷が推薦され、選挙にて承認されました。また、Athletes Commission の初代委員には選手より高橋が選挙にて当選しました。今後益々日本からの貢献が重要視されており、可能な限り応えていく所存です。



photo by Bart Treuren



photo by Bart Treuren





## Special thanks!!!



国内外で多くの方が日本代表チームを支えてくださいました。ありがとうございました。

### ☆壮行会

4月1日 こもねカップ運営委員会により開催された国際競技規則による競技会「こもねカップ」において、世界選手権日本代表壮行会が行われました。たくさんの方にお集まりいただき、選手へ激励のお言葉を賜りました。ありがとうございました。  
ご協力いただいた運営委員会、筑波大学附属桐が丘特別支援学校関係者の皆様に御礼申し上げます。

### ☆「あたたかいご支援をありがとうございました。」

この度、第13回世界ラート競技選手権大会日本代表選手団のために、あたたかい応援金を賜りましてありがとうございました。  
ここにお礼申し上げます。

～ ご支援いただいた方 ～ (五十音順)

相原奨之様、安西映子様、石垣京子様、大塚隆様、押田洋之様、  
五島賢造様、金井彩陽子様、川本家様、田村憲一様・貴子様、  
田村千佳子様、西井啓介様、西井陽平様、長谷川聖修様、肥田泰治様、  
松本陽一様・絵美子様、本島淳夫様、本村三男様・みどり様、横山望様

～ お土産をご提供いただきました ～

株式会社 安藤醸造 様

例年、ラート日本代表選手団は、現地でお世話になる方々へお土産を持参しています。高橋靖彦選手の地元秋田県角館の安藤醸造様から、フリーズドライ味噌汁をお土産として提供していただきました。海外のラート関係者や大会関係者に大変喜んでいただけました。また、日本食が恋しくなる大会期間中、選手団を支えてくださいました。ありがとうございました。(安藤醸造 HP はコチラ <http://www.andojoyozo.co.jp/>)



こもねカップ photo by K.Takezono

### ☆現地で選手を支えてくださいました

ジュニア選手の保護者として同行してくださった方や、選手のご友人、ご家族などが現地で選手を応援、選手団を支えてくださいました。ありがとうございました。

犬塚健太さん、五島誠司さん・美歩さん、  
小原圭子さん、小山百恵さん、  
瀧澤浩司さん・祐子さん、古川美幸さん、  
堀口誠二さん・恭子さん、  
森大輔さん、吉行康子さん



photo by Bart Treuren

### ☆写真撮影・動画配信をありがとう!

オランダの写真家 Bart Treuren さんが、数多くの写真を撮ってくださいました。日本選手団の写真も盛り沢山! ありがとうございます。

Bart さんのウェブサイトはこちら <http://www.barttreuren.eu/>

ラートの写真はコチラ <http://www.rhonrad.eu/>

ドイツでメディア製作のお仕事をしている Andreas Brauner さんが、予選から動画配信を行ってくださいました。また、IRV 会長の Henning Henningsen さんも決勝の動画配信を行ってくださいました。おかげで日本からもリアルタイムで観戦することができました。

Andreas さんの動画はこちら <https://www.youtube.com/user/BTVRhoenrad>



Henning さん

photo by Bart Treuren



Bart さん



Andreas さん

Dank u wel!!!  
Vielen Dank!!!

## 【お知らせ】

### ◎ IRV Open Mixed Masters & Wheel Workshop Week

2019年、Tortosa(スペイン)で開催される CSIT World Sports Games で、ラートのイベントが行われます。ラートとシルの混合団体戦と初級者も参加できるワークショップです。

興味のある方はこちらのサイトをご覧ください。<http://www.rhoenrad.com/en/events/wsg2019-tortosa.html>

参加検討中の方は申し込みの前にご一報ください。

#### 《連絡先》

日本ラート協会事務局 電話:042-349-2024 e-mail:[office@rhoenrad.jp](mailto:office@rhoenrad.jp)

### ◎ 『IRV 国際審判員資格講習会』開催

この夏、国際ラート連盟の会長 Henning さんや技術委員 Miriam さんのご協力のもと、日本で初めて国際審判員資格講習会を開催できることになりました。たくさんの方のご参加をお待ちしております。



日本ラート協会 副会長  
本谷 聡

2年前より IRV (国際ラート連盟) と協議を続けてきた結果、ついに IRV 技術委員 Miriam 氏による国際審判員資格の講習会を、下記の通り、日本で実施できることになりました。これは、来年4月下旬に秋田で開催されます Team World Cup 2019 in Akita に日本人の国際審判員を少しでも多く派遣することをねらいとした講習会でもあります。日本での初開催となりますので、興味のある方の積極的な参加を期待しております。



IRV 技術委員  
Miriam Kaufmann さん

I am looking forward to coming to Japan and to meeting lots of gym wheel friends of Japan! I hope that everybody will learn lots of new things.

日程:	2018年7月19日(木)~22日(日) 午前9時~17時
場所:	筑波大学中央体育館二階会議室
講師:	IRV 技術委員 Miriam Kaufmann 氏
詳細:	近日中に要綱を掲載します 日本ラート協会公式サイト <a href="http://www.rhoenrad.jp/main_flame.htm">http://www.rhoenrad.jp/main_flame.htm</a>

## 【事務局便り】

### ◎ 今年度の主な行事

- |                       |                    |                              |
|-----------------------|--------------------|------------------------------|
| ・ 国際審判員資格講習会          | 日程: 7/19(木)~22(日)  | 場所: 筑波大学中央体育館二階会議室           |
| ・ 第14回全日本学生ラート競技選手権大会 | 日程: 8/18(土)~19(日)  | 場所: 桜総合体育館(つくば市)             |
| ・ 夏季ラート実技講習会 (学生対象)   | 日程: 8/20(月)~21(火)  | 場所: 筑波大学中央体育館一階体操場(つくば市)     |
| ・ 夏季ラート実技講習会 (一般対象)   | 日程: 9/8(土)~9(日)    | 場所: 遊学の里手賀の丘少年自然の家(柏市)       |
| ・ 目指せ名人! ジュニアラート大会    | 日程: 9/17(月祝)       | 場所: 遊学の里手賀の丘少年自然の家(柏市)       |
| ・ 第24回全日本ラート競技選手権大会   | 日程: 12/15(土)~16(日) | 場所: つくばカピオ サイバーダイナアリーナ(つくば市) |

## 【編集後記】

この夏、初めて国際ルールについて学ぶことのできる講習が日本で開催されますね! 楽しみです。私は過去2回、欧州でのミリアムさんによる講習に参加していますが、とても丁寧に分かりやすく説明していただきます。参加する方はぜひしっかりと予習をしてのぞんでください。講習がより充実したものになりますよ。お楽しみに!!!

日本ラート協会広報部会委員 但馬 絵美子